

7. 免疫・アレルギー疾患

- 疾患名：アナフィラキシーショック
- アウトライン：

「10 歳女児。患者は膿皮症治療のために、アモキシシリンが投与された。アモキシシリン内服により、脈拍上昇、血圧低下、体温上昇をきたし、深い呼吸となり、喘鳴音が確認される。その後、さらに血圧低下、SpO₂も低下し、体温上昇、チアノーゼが確認されアナフィラキシーショックとなった。そこで、アドレナリンを投与することにより、一過性の脈拍上昇、血圧上昇をきたしたが、その後、回復となった。6 年後、患者は A 群溶連菌咽頭炎の診断を受けた。ペニシリンアレルギーがあることから、エリスロマイシンラクトビオン酸塩注射液が処方された。しかしながら、エリスロマイシンの急速静注が行われ、30 分後に心室頻拍が発現する。」

- LLEAP 情報：

- ✓ 受講者への概要：10 歳女児。膿皮症治療のための抗生物質投与によるショック経験あり。A 群溶連菌咽頭炎の診断を受け、不適切な薬物投与方法により患者急変。容態変化の確認を行う。
- ✓ 学習目標：全身観察、異常な聴診音、心電図変化や脈拍の変化について理解する。
- ✓ 名前：降旗 レルダ（ふりはた れるだ）
- ✓ 身長：137 cm
- ✓ 体重：30 Kg



(処方)
 サワシリン細粒 10% ^(注1) 1 回 200 mg (1 日 600 mg) [成分量]
 1 日 3 回 朝・昼・夕食後 4 日分
 (注1: アモキシシリン水和物 100 mg/g [製剤量] を含む細粒)

(処方)
 エピベン注射液 0.15 mg ^(注2) 1 本

シムマン 3G を使用したコアカリ提示代表的 8 疾患シナリオプログラム 解説

1 回 1 注入 筋注

(注 2: 1 注入でアドレナリン 0.15 mg を投与できる自己注射用製剤)

(処方)

エリスロシン点滴静注用 500 mg (注 3)

注射用水 20 mL

生理食塩水 100 mL

1 回 250 mg (1 日 500 mg)

1 本

2 本

1 日 2 回 点滴静注 (1 回 2 時間以

上かけて)

(注 3: エリスロマイシンラクトビオン酸塩をエリスロマイシンとして 500mg 含む注射剤)

● 高機能患者シミュレータ SimMan 3G への詳細なプログラム設定の内訳

	A	B	C	D
心音 A	標準 90	標準 90	標準 90	心室頻拍 90
P	標準 90	標準 90	標準 90	心室頻拍 90
T	標準 90	標準 90	標準 90	心室頻拍 90
M	標準 90	標準 90	標準 90	心室頻拍 90
前肺音右上	標準 20	笛様音 50	標準 20	標準 20
右中	標準 0	笛様音 50	標準 0	標準 0
右下	標準 0	笛様音 50	標準 0	標準 0
左上	標準 20	笛様音 50	標準 20	標準 20
左下	標準 0	笛様音 50	標準 0	標準 0
後肺音右上	標準 20	笛様音 50	標準 20	標準 20
右下	標準 0	笛様音 50	標準 0	標準 0
左上	標準 20	笛様音 50	標準 20	標準 20
左下	標準 0	笛様音 50	標準 0	標準 0
腸音	標準 50	標準 50	標準 50	標準 50
心電図	洞調律	洞頻脈	洞調律	心室頻拍
脈拍(/min)	71 整	118 整	90 整	124 整
血圧(mmHg)	114/51	69/32	112/60	132/78
呼吸数(/min)	12	24	16	18
SpO ₂ (%)	99	86	97	96
体温(°C)	36.5	38.5	37.8	36.5
その他 (咽頭浮腫)		○		
その他 (舌の浮腫)		○		
その他 (チアノーゼ)		○		

心音、肺音、腸音の数値は、スピーカーから流れる音量 (%) を示している。